美濃桃山陶の聖地 験で育む可児の誇 茶道連盟講師の指導により、真剣にお茶を点てる生徒たち

また、 茶碗は可児市の伝統文化

美濃桃山陶の聖地とは

陶磁史上最も華やいだ時期とい

らって、 だということを詳しく説明しても できました。 市っていいなと改めて思うことが つことができたのでよかったです 私はこの授業を通して、 可児市の文化に関心を持 可児

(広陵中1年女子)

碗銘「卯花墻」です。「卯花墻」は、洞窯で焼かれたといわれる志野茶うちの1つが、久々利大萱の牟田茶碗の国宝は2つしかなく、その茶碗の国宝は2つしかなく、その

といいます。日本国内で作られた

織部などを総称し、

「美濃桃山陶」

で焼かれた黄瀬戸・瀬戸黒・志野 われる安土桃山時代に、美濃地方

はないでしょうか。 に残っていることは、どんなことで しょうか。「いつもと違う体験」で 右の感想のように、郷土に愛着や

います 学生を対象にお茶講習会を推進して 茶道連盟の協力を得て、 誇りを持つ心を育むことを目的に

市が企画したこの講習会は、 織田信長や豊臣秀吉と茶の湯 可児市と美濃桃山陶との お抹茶をいただ このよう お菓



皆さんが子どものころの授業で心

られています。

え、日本美術の代表作として認め代表として、茶の湯という枠を超

自由闊達な当時の時代性を伝える

形を大きく変えることなく残され地は今もなお、約400年前の地

日本独自の美が生み出された聖

市内の小中

豊蔵が再現した大窯(久々利大萱牟田洞古窯跡)

可児市の魅力である「美濃桃山陶の がら、 グラムとしています。 聖地」への興味・関心を高めるプロ つながりなどを学びます。 の関わり、 子をいただいたり、 な体験を通した総合的な学びにより いたりしていつもと違う体験をしな



お茶講習会の資料

た。楽しく歴史や文化に興味を持って授業として取り組むのは初めてでし 学校茶道に長く携わっていますが、お茶講習会講師のコメント 興味を持ち、「可児に生まれてよかった」 と思っていただければうれ を点てることにも興味がわいたようで さんは、非常に熱心に取り組み、 もらうことを意識しました。 これを機に、可児のことにさらに しいですね。 生徒の皆 お茶

た瀬戸黒の説明を する学芸員 ②お茶講習会の趣旨

①荒川豊蔵が制作し

※12月9日には、 学も実施。

荒川豊蔵資料館の見

て可児市の良さを実感しています。

進んでいきます。生徒は、体験を通じ

可児市の魅力発信カレンダー作りへと 験、抹茶茶碗作り、荒川豊蔵資料館見学

武道場

茶会「おもてなしの心」

荒川豊蔵と可児の焼き物

前授業で学んだことをもとに茶道体 講師とする出前授業を行いました。 ですので、荒川豊蔵資料館の学芸員を

出

- を説明する校長
- ③お辞儀を習う生徒 4)お茶碗の種類の説 明を熱心に聴く生



12 11 11 10 10 9 25 20 28 14

信長、秀吉、

利休のお茶

お茶の伝来・茶の心 お茶の作法・道具の名前

豊蔵氏の偉業について学ぶことも必要

美濃桃山陶を学ぶにあたっては荒川

織部と利休

日程

います。

とした文化にも触れさせたいと考えて魅力の一つとして美濃桃山陶をはじめトしました。学習を通じて、可児市の

発見」をテーマにふるさと学習をスター

行いました。

茶道と可児市の伝統文化を学ぶ活動を間で、ふるさと可児をテーマとして、

広陵中学校では、総合的な学習の時

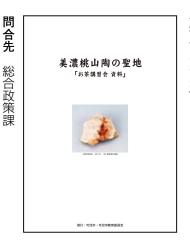
お茶講習会の実践例

校長のコメン

今年度、

1年生は「可児市の魅力再

エピソ 配付し、美濃桃山陶の聖地の理解に役 ました。お茶講習会を実施する学校に 山陶に関することや歴史的な背景を、 立てていきます。 市は、 お茶講習会で盛り込む美濃桃 ドを交えて資料としてまとめ



朝読書で資料を読む生徒

3 広報かに 2015.3.1 広報かに 2015.3.1 2